

泉大津市立くすのき保育所 無垢木材在来工法で建てた保育園



園名にちなみ、くすのきを大黒柱にした無垢の木材だけの園舎が泉州・泉大津市に完成しました。120年を超える材齢の吉野の桧・杉を柱・梁に、床には東北産のくりフローリング、外装にはレッドシダー・セラガンバツで仕上げた「フィットン・チッド=森の香り」いっぱい的心と体にやさしい、子どもたちの五感を育む建物です。入口の扉は、曲げ木とカラーガラスを組み合わせ「くすのき」をイメージにデザインしたオリジナルの木製建具です。

(株)エーアンドシー設計





2階から保育室全体が見える



クス・杉・栗・檜仕上の1歳・0歳保育室 食育厨房が見える2歳保育室



風が抜ける軒の深い外廊下



保育室・廊下に面した厨房



人研仕上げの手・足洗い場



おづみん(市キャラ)の手づくり園名板



葉っぱをデザイン・渡り廊下



1階保育室の通風を調整・2階会議室 壁内を見える様にした非常ベル



同左コンセント



防風・塵効果を考えた敷居レール



2階会議室の風抜き無双窓



カラーガラスによる手づくり室名板



同左・室名板



同左室名板＋欄間の通風窓



くすのきをモチーフ保育室出入口くすのき大黒柱・無垢木製家具 医務コーナー・折りたたみBED 各所を見通す受付コーナー

木の香りが漂うトイレ



風道として階段室を利用



光・風道としての2階廊下



ペアガラス+カラーガラスの木製実験流し利用のローコスト手洗



カラーガラスによる葉っぱの戸